

特集

認知症の当事者研究のために 老年看護学の新たな視座を拓く

なぜ、認知症の当事者研究なのか—認知症ケアの歩みと未来 中島紀恵子

認知症の当事者研究とは何か—その歴史と展望 永田久美子

医師の立場からみた認知症の当事者研究 木之下徹

認知症の本人が生きることの記録 川村雄次

認知症の本人と共に生きる支援の実践 櫻井記子

個別ケアと地域包括ケアのダイナミックな連動の実践 稲垣康次

〈座談会〉認知症の当事者研究からみえてくるもの

木之下徹, 川村雄次, 櫻井記子, 稲垣康次, 永田久美子, 中島紀恵子

〈講演〉認知症と生きる

クリスティーン・ブライデン／訳：馬籠久美子 解説：永田久美子

●連載

質的研究の前提と正当性・3 家高洋

Words, words, words. 研究と言語—質的研究のために・9 江藤裕之

編集後記

●1つのものに関心を抱くことは簡単ですが、それを抱き続けるということは、なかなか難しいことだと思います。継続するには多少なりとも努力が必要になってくるので、モチベーションの維持が結構大変です。関心の向くままにあれこれ手を出していると結局ハンパなことになりかねず、自分が何をしたいのかわからなくなったりします。軸が定まらないうちに冷めてしまつとか、好きだったはずのものが嫌いになる、ということも。ただ、たとえ一から出直すことになっても、再び関心を向けるということがあり、それがやはり、その関心が本物かどうかの目印になるのかなと感じます。…というのは個人的な経験則ですが、1つの事例を「研究」に仕立て、日常の「実践」を「実践知」にまで高めていくプロセスも、数々の困難を伴うものと思います。本特集は、それを1つひとつ丁寧にほぐして「研究」へと導くばかりでなく、そもそもなぜ看護という道を選んだのかという、看護実践者としての原点に立ち返らせてくれるように、一読者として感じました。きっと、事例研究法のもつ大きな力ですね。(小長谷)

看護研究 第46巻 第2号(通巻244号) 2013年4月15日発行(増刊号を含め年7回発行)

発行：株式会社医学書院 代表者 金原優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2013, Printed in Japan

販売部(03)3817-5659 社内案内(03)3817-5600 医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp>

『看護研究』編集室：(03)3817-5775 電子メールアドレス kanken@igaku-shoin.co.jp 担当／小長谷・伊藤

1部定価1,890円(本体1,800円+税5%)

2013年年間購読料(税込、送料弊社負担、増刊号を含む年7冊)：冊子版12,600円 冊子+電子版/個人

15,600円 冊子+電子版/共有17,500円 電子版/個人12,600円 電子版/共有14,600円

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行なうことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行なうことは違法となります。

〔JCOPY〕(社)出版者著作権管理機構委託出版物)

本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(社)出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX03-3513-6979, e-mail info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

●編集顧問(五十音順)

小島操子

聖隷クリストファー大学・教授(学長)

中島紀恵子

新潟県立看護大学・名誉教授

中西睦子

国際医療福祉大学・教授(看護学科長)

前原澄子

京都橘大学看護教育研修センター・所長

南 裕子

高知県立大学・学長

●編集協力者

阿曾洋子／荒川靖子

井部俊子／蝦名美智子

太田喜久子／岡谷恵子

片田範子／金井Pak 雅子

上泉和子／川口孝泰

河口てる子／川村佐和子

黒田裕子／高橋泰子

近田敬子／筒井真優美

水流聡子／野嶋佐由美

早川和生／舟島なをみ

村嶋幸代／森 恵美

安酸史子／山本あい子

横尾京子